

生態系アカデミー = 生きた「知」を得る場

「生き物」を多面的に捉える視座



学びのプロセス

・遊びを通し生態を調べるワークショップを提供する

・生き物の多様性を知り、考える

・インターネットで比較したり、議論したりして、理解を深める

コンセプト / アカデミー憲章

多くの生き物が暮らし、それぞれに住む環境を知り、守ることを学ぶ学校

昆虫を通して遊びの幅を広げよう
昆虫を通してグループ活動しよう
昆虫を通して親子で自然体験しよう

【昆虫との遊び方】

昆虫を通して生態系を知ろう
昆虫を通して生き物の多様性を知ろう
昆虫を通して里山保全を学ぼう

< テーマ >

コンセプト

< 目的 >

昆虫が棲める里山を作ろう



【 アカデミー 憲章 】

- 1つ. 楽しみの幅を広げられるよう里山に昆虫を呼び戻す術を学ぶこと
- 2つ. 昆虫の生態観察を通して生き物の多様性を知ること
- 3つ. 生き物の多様性を学び、その棲みか(生息・生態)を守ること
- 4つ. 親子でグループで地域で、そして全国に昆虫の里山作りを広げること
- 5つ. 以上を通して里山の生態を楽しく学び、体験し、遊びの幅を広げること

「生物多様性アカデミー」開講

2010年 生物多様性条約 COP10の日本における開催に向け、「生物多様性」を一般レベルの視線に置き、解りやすくときほぐす役割と、楽しみを見出せる取り組みとして共有できる、基礎コースとしたい。

【第1期生：予定】

開催地：東京（都内）

開催時期：08年10月～09年9月 4回実施

形式：教室座学、課外見学、SNSワークショップ

・主な対象者：25歳～50歳の一般市民、経営者

・コース：ライフスタイルセレクション

：ビジネスイノベーションセレクション

・定員：50名（各コース）

「生物多様性アカデミー」カリキュラム例

【共通トラック：生物多様性って何？】

- 1 - 生物多様性の入り方A to Z
(内容: バイオリージョンを描き、物語る 教材: 生態図鑑、GIS衛星写真)
- 2 - 世界の生物多様性事例: 生物の宇宙観
(内容: 生態系サービスとビオトープ 教材: Google Earth 政策)
- 3 - 「農」から自然と人間のふれあいを見る 「農業体験」
(内容: パーマカルチャー 教材: パーマカルチャー、精密農業)

【ライフスタイルセレクション】

- 3 - 親子の昆虫調査を元にSNSとの交流 「生き物の立場に成り代わる」
(内容: 生き物の視点から世界を描き直す 教材: アサザ基金の実践)
- 4 - 小学校の授業でNPOとコラボ 「昆虫が蘇える里を創る」
(内容: 里山づくり 教材: ビオトープ)
- 5 - 動物、昆虫、水中カメラマンの意識
(内容: 映像で見る生態と生き物の変化 教材: 自然界撮影写真集)

【ビジネスイノベーションセレクション】

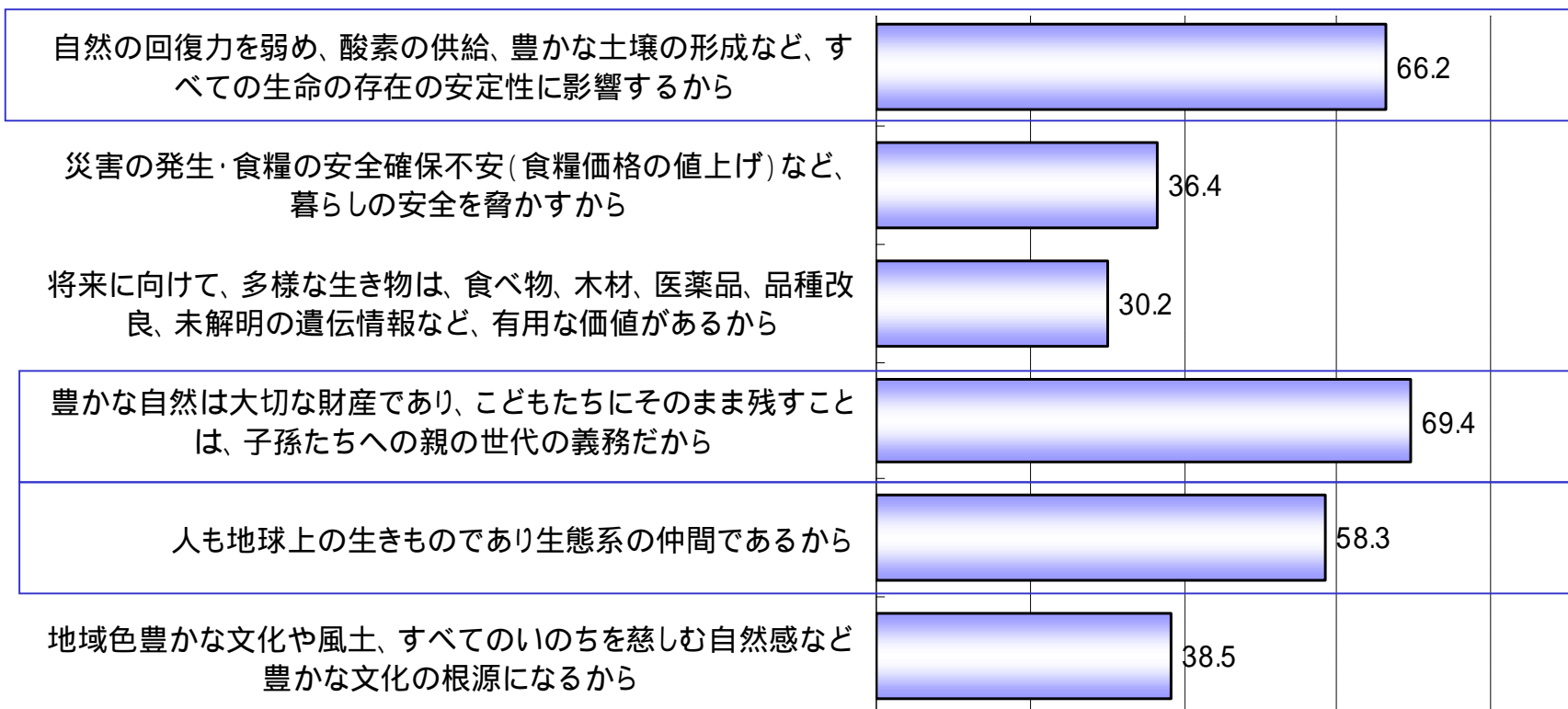
- 3 - 自然のすごさと人との新たな関係づくり
(内容: ネイチャーテックの事例 教材: ネイチャーテック、バイオミクリー)
- 4 - 生き物にとっての心地よさを考える
(内容: アニマルウェルフェア 教材: 牧場見学、動物園を運営するゲーム)
- 5 - 生物多様性とビジネス
(内容: 生物多様性とビジネス 教材: 海外事例動向、生態系サービス取引)

生態系アカデミー@昆虫フィールド編では、本編の拡張として親子で体験できるフィールドアクティビティを準備する。



生物多様性への配慮の理由

「子孫への義務として、自然の安定のために、地球の仲間として」
配慮すべきである。



日本人25-44歳1030人にインターネット調査(2007/12/27-28 NPO法人アースデイ・エブリデイ実施)